

令和5年度

帯広市立豊成小学校

校内研究概要

# 今年度の研究主題

「教わる」から「学ぶ」  
授業への転換

～「やってみたい」を後押しする学びのマネジメント～

# 昨年度までの研究（2021～22）

## 〈研究主題〉

「自ら進んで、共に学び、  
考えを創り上げる子どもの育成」

→ 主体的（1年次重点）・対話的（2年次重点）な学びの充実

### 成果

- 自己調整能力の向上
- 活発でスムーズな話し合い

### 課題

- △学習に対して受け身
- △自信がもてない

# 子どもの実態

## 授業中の姿から

○課題に真剣に取り組むことができる

△自発的でなく、受け身

## 児童アンケートの結果から

- ・自信がつくきっかけ
- 1位「テストの点数が上がったとき」
- 2位「上手にできたとき」
- ☆複数学年で向上した問い
- ・友達に考えが、認められたとき

## チャレンジテスト・標準学力調査から

△年々、点数が下がってきている

→問題文を正確に読み取る力 や 書く力

→問題に対してねばり強く取り組む力が課題

(学力向上コーディネータの分析)

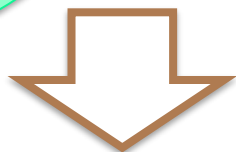
# 昨年度までの研究と子どもの実態

## 昨年度までの 研究

- △学習に対して受け身
- △自信がもてない

## 子どもの実態

- 課題に真剣に取り組むことができる
- △自発的でなく、受け身



「自ら」「進んで」「主体的に」  
学ぶ子を育みたい。

# 目指す子ども像

- ① 「やってみたい」と  
自ら進んで学ぶ子ども
- ② 社会性や自主性を身に付け、  
生きる力を育む子ども

# 今年度の研究主題

「教わる」から「学ぶ」

授業への転換

～「やってみたい」を後押しする学びのマネジメント～

研究主題設定の経緯は以下の7点

# 研究主題設定の経緯

## ①子どもの実態や願い

### 授業中の姿から

○課題に真剣に取り組むことができる

△自発的でなく、受け身

### 児童アンケートの結果から

- ・自信がつくきっかけ
- 1位「テストの点数が上がったとき」
- 2位「上手にできたとき」
- ☆複数学年で向上した問い
- ・友達に考えが、認められたとき

### チャレンジテスト・標準学力調査から

△年々、点数が下がってきている

→問題文を正確に読み取る力や書く力

→問題に対してねばり強く取り組む力が課題

(学力向上コーディネータの分析)



## 研究主題設定の経緯 ②学校経営目標

# 子どもが主人公

やってみたい・やらせてみる

～ “不易” のよさを継続、 “流行” に挑戦～

# 研究主題設定の経緯 ③学校経営理念

## 豊成小の学校経営理念【教育理念】

これからの時代を生き抜く「人間力」の育成を  
目指し、豊かな人間性や社会性を育み、自ら学ぶ  
意欲を培い、健やかな体を育てるなど、人間とし  
て知・徳・体の調和のとれた児童を育成し、地域  
と協働で信頼される学校を創造する。

## 研究主題設定の経緯 ④エリア3校の目標

未来に向かって  
キラキラ輝く子ども

研究主題設定の経緯 ⑤昨年度までの研究の積み重ね

○主体的・対話的で深い学び

○道徳科

## 研究主題設定の経緯 ⑥教育の潮流

- ICTの活用
- 子どもの言葉を板書（つくば等）
- 学習課題の個人設定

# 研究主題設定の経緯 ⑦-1 学習指導要領

## 学習指導要領 前文

「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように」

# 研究主題設定の経緯 ⑦-2 学習指導要領

**「個別最適な学び」** → 「指導の個別化」「学習の個性化」自己調整

H28年度答申

基礎基本に課題→児童生徒の学びを深めたり主体性を引き出したり 確実な習得  
自ら適切に学習課題を設定 児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択  
自主的、自発的な学習

**「協働的な学び」** H28年度答申

学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたり できることの実感をもつ。

そうした実感は、子供たちにとって、自分の活動が身近な地域や社会生活に影響を与えるという認識につながり、これを積み重ねていくことにより、主体的に学びに向かい、学んだことを人生や社会づくりに生かしていこうという意識や積極性につながっていく。

# 教師像、授業像の 転換



# 今年度の研究主題

〈研究主題〉

「教わる」から「学ぶ」  
授業への転換

# 教師としての意識改革

子どもの学びを  
待つ、見守る



(子どもの前ではなく)  
横・後ろに立つ



## 授業のイメージ

# 主体的な学び

- ① 児童が学ぶ時間の保障（30～40分）
- ② 児童の「やってみたい」に寄り添う指導
- ③ 児童の思考の流れに沿う授業

# 授業づくり

## ①児童に「学ぶアイテム」をもたせる

例：発表の仕方、交流、比較など、視点をもった聞き方、興味別グループ分け、役割分担、振り返りの活用、まとめ方…

## ②教師発信の部分のスリム化をはかる

プレ研で、児童の反応や思考の流れを確かめ、学習内容や指示をそぎ落とす。

# 「学ぶ」授業 & 「教わる」授業

- 研究主題にそった授業は、1単元に1、2時間。
- 「習得」も必要。  
できるまでじっくり練習を重ねる授業も行う。

「学ぶ」意欲に  
ついて

# 今年度の研究主題のおさえ

〈研究主題〉

## 「教わる」から「学ぶ」授業への転換

辞書的意味

：知識や経験を得る、または習う、まねる

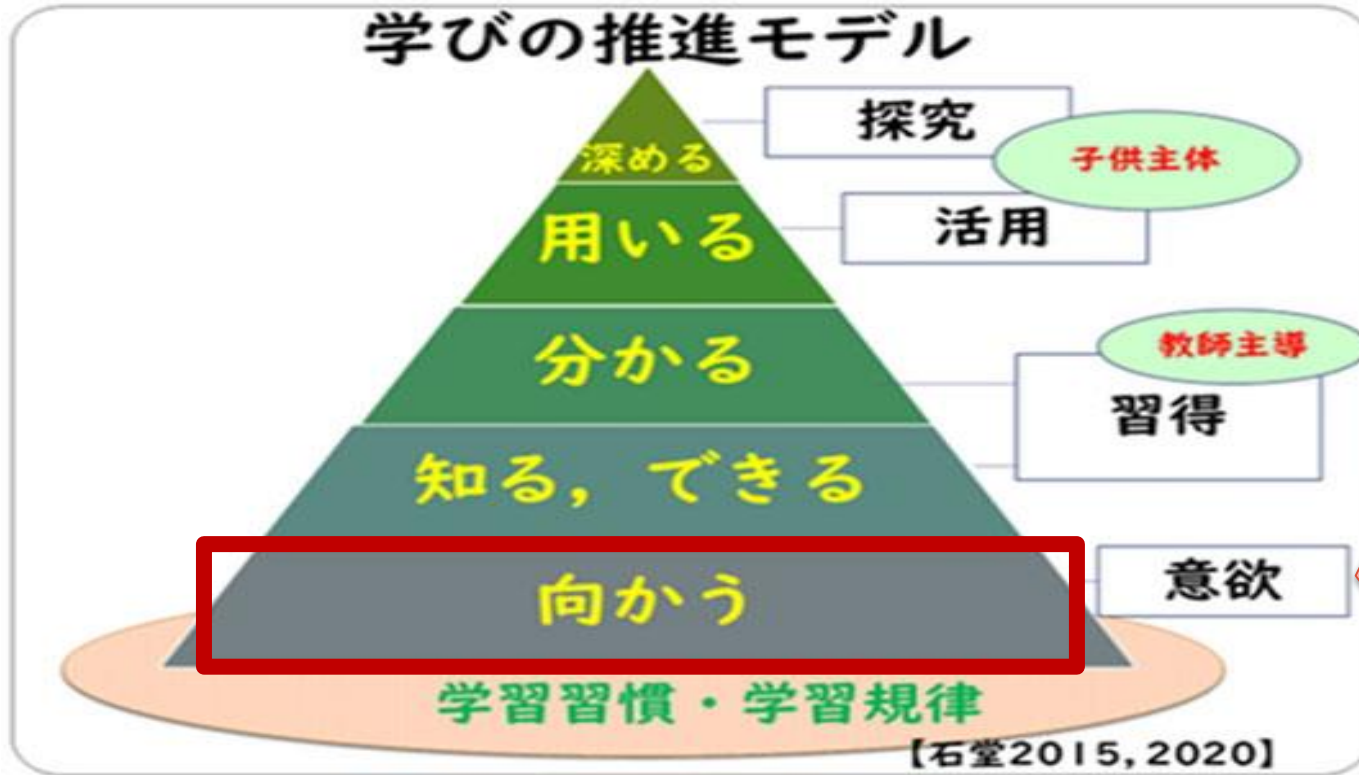
研究部として

：「自ら」「進んで」「主体的に」

積極的 「やってみたい」  
意欲的 「やってみよう」  
自発的 「すすんで」  
自主的 「意志をもって」  
能動的 「他に  
はたらきかけたい」

辞書的意味：自分の意志・判断に基づいて行動するさま。

# 学びの推進モデル（石堂、2020）



学習意欲が  
全ての土台に！



# 研究仮説

# 研究仮説

① 「やってみたい」と思える課題設定の工夫をすることで、  
自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

② 学びの場の保障をすることで、安心して挑戦し、思いを  
実現しようとする子どもを育てることができるだろう。

# 「やってみたい」を後押しする 学びのマネジメント

- ① 「やってみたい」と思える課題設定の工夫をすることで、  
自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

児童の疑問を  
課題に  
つなげる

ゴールの  
見える  
課題設定

振り返りを  
いかす授業  
の流れ

～提案授業より～

# 「やってみたい」を後押しする 学びのマネジメント

②学びの場の保障をすることで、安心して挑戦し、思いを実現しようとする子どもを育てることができるだろう。

自己決定・  
選択の場

再チャレンジの  
できる単元計画

時間の保障

見通しの  
もてる活動

～提案授業より～

# 提案授業の指導案



## 7. 本時の学習展開 (4/7)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習内容を知る。</li> <li>かん電池とモーターの回る速さの関係を考えよう。</li> <li>○モーターをもっと速く回すにはどうすればよいか予想をする。</li> <li>・かん電池を2個にする。・かん電池の数を増やす。</li> <li>○仮説を立てる。</li> <li>・乾電池の数を増やすとモーターは早く回る。(予想される児童の仮説1)</li> <li>・乾電池の数を増やしても、つなぎ方によって回り方は変わる。(予想される児童の仮説2)</li> </ul>	※モーターを速く回してみたい、乾電池を2個に増やして実験してみたいと話していた児童の思いを取り上げ、本時の導入とし、学習意欲を喚起する。 ※速さについては、2時間で考えることを伝え、学習の見通しをもたせる。
時間の保障①		疑問① ふりかえり①
展開 27分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 仮説を検証しよう。</li> <li>○仮説別のチームに分かれる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">           1、2のみ 近くの人と仮説検証する。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">           1、2に分かれたとき 仮説1チームと仮説2チームに分かれる。         </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動の見通しをもつ。</li> <li>・実験をしてから、結果の発表方法を考える。</li> <li>・活動時間を決める。</li> <li>○仮説を検証する。(グループ)</li> <li>○結果を交流する。(全体)</li> <li>○仮説が正しかったのか確認をする。</li> </ul>	※児童の思考に寄り添った活動チームに分ける。 ※使ってよいものの条件を確認する。 ※根拠のある説明となるように指示する。 □乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方について考え、表現している。(思)〈発言・交流・ノート〉 ※全体交流の場で、それぞれの説明の仕方について比較し、共通点に着目させる。
		ゴールの見える課題設定① 自己決定、選択②
		見通し②
		自己決定②
終末 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎モーターの回り方は、かん電池のつなぎ方と関係がある。</li> <li>○本時の振り返りをする。</li> <li>○次時への見通しをもたせ、学習意欲を高める。</li> </ul>	※教科書を開き、つなぎ方の名前を知る。 ※振り返りの視点を提示する。 ※今回新たにわいた疑問など次時と取り扱うことを確認する。
		トライ&チャレンジ②

# 学びのマネジメント

# 今年度の研究副主題

〈研究副主題〉

～「やってみたい」を後押しする、  
学びのマネジメント～

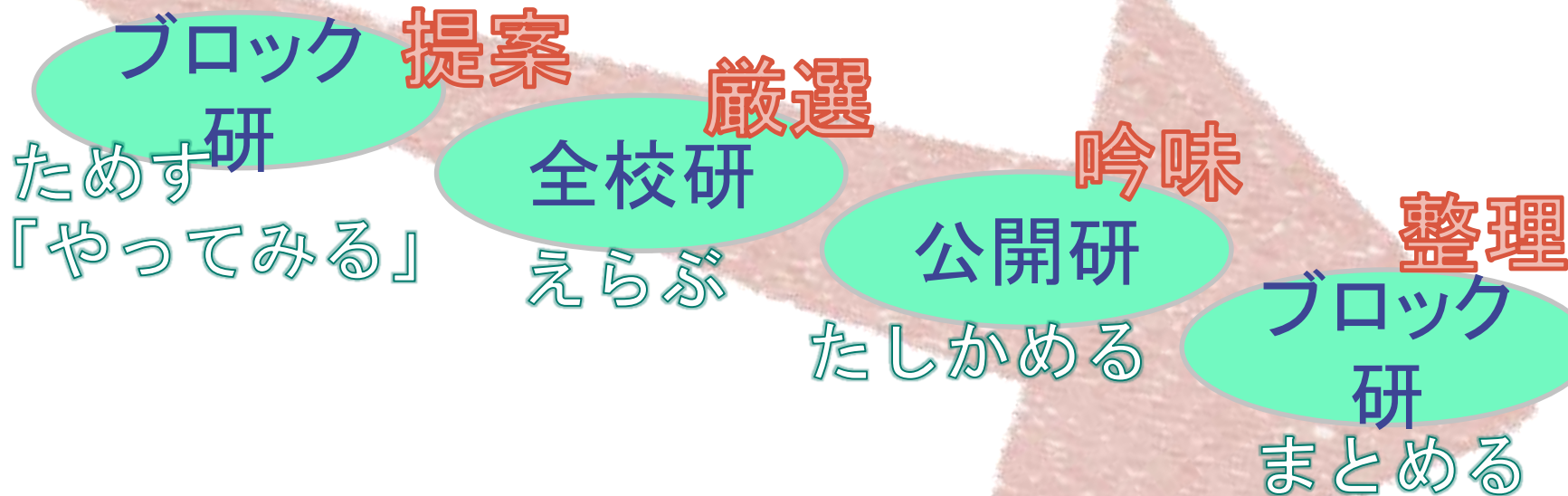


主体性を育むためにできる工夫を仮説検証していく。

※特別支援学級も、同じ研究テーマ、仮説で進めていきたい。

# ～「やってみたい」を後押しする学びのマネジメント～

豊成小の考えるマネジメントについては、  
提案授業で示した以外に効果的な工夫がないか、以下の研修計画の中で探っていく。





学びのマネジメントを  
7つの視点に  
分類しました

指導案にも明記しています

	<低学年>	<中学年>	<高学年>	
仮説① 課題設定の工夫	<b>①ゴールの見える課題設定（本時のゴール、単元全体のゴール）</b> 段階的な単元計画、適切な条件の設定（自力解決、交流、発表の仕方など）、		①ゴール	
	<b>②「やってみよう」と思える課題設定の工夫</b> 低学年～日常生活と関わらせ、意欲のもてる課題	<b>②「やってみよう」と思える課題設定の工夫</b> 中・高学年～児童の疑問から問いを生み課題につなげる、振り返りを生かして次の問いにつなげる		②課題設定の工夫
仮説② 学びの場の保障	<b>③児童が主体となって活動する時間の保障</b> 低学年 20～30分	<b>③児童が主体となって活動する時間の保障</b> 中・高学年～30～40分		③時間の保障
	<b>④自己決定、自己選択の場の保障</b> 低学年～取り組む題材 など	<b>④自己決定、自己選択の場の保障</b> 中・高学年～取り組みたいテーマ、課題解決のための手立て（表現方法、調査方法、個人 or 集団）		④自己決定
	<b>⑤主体的に学ぶための「アイテム」を持たせる</b> 低学年～効果的なワークシート など	<b>⑤主体的に学ぶための「アイテム」を持たせる</b> 中・高学年～話し方や読み方・書き方など「学び方」の指導、段階的な単元計画		⑤アイテム
	<b>⑥子どもたちが安心して学習に取り組める手立て</b> 学習の見通しが明確に持てる、個々の学習状況の把握、児童主体の活動中の教師からの関わり（ヒントカードなど）、再チャレンジの機会の保障		⑥安心できる手立て	
	<b>⑦意見の共有、個→全体へ収束させる手立て</b> 低学年～挙手での発表、交流の経験を積む	<b>⑦意見の共有、個→全体へ収束させる手立て</b> 中・高学年～全体交流の進行（指名計画）、小集団交流の目的の明確化		⑦共有

※特別支援ブロックは、各児童や学級の実態に応じて取組の段階を適宜選択する。

# 公開研 授業のみどころ

1年 国語

児童が主体的に取り組めるワークシートの工夫。

友達と進んで交流しながら、よりよい自動車図鑑を作る姿を目指します。

## 2年 国語

学習形態（個人・ペア・グループ）や資料  
を選択する機会の保障。

説明の順序に沿って、資料を活用しながら、  
作り方の構成を考える姿を目指します。

## 3年 国語

個別最適な活動ペース & 協同・他者参照  
選択の機会を保障。

よりよい説明の例示や順序を、自分なりの  
理由で表せる姿を目指します。

## 4年 理科

自分なりの仮説を検証できる時間や場、  
用具の保障。

自由な活動から科学的な視点、興味・関心  
を育むことを目指します。

## 5年 算数

主体的に課題解決に向かうための  
学習形態・アイテムを選択の保障。

一人一人が考えを持ち、自己選択をしながら  
表現できる姿を目指します。



## 6年 国語

文書作成アプリ「Canva」を用いて、他者と  
交流しながら個の学びを深める。  
対象を定めて内容を工夫する。

学習したことを生かし、効果的な表現の工夫  
を用いて文章を構成することを目指します。

5年 理科（理科専科）

自分の予想や仮説をもとに条件を選択。

個の興味に基づき主体的に問題を解決する  
姿を目指します。

Step up学級（知的） 自立活動

子どもたちで話し合いを進める場や  
時間の保障。

自分の考えをもち、自分たちで話し合いを  
進められる力の育成を目指します。

主体的な活動への参加や自己をふりかえるための個別目標の設定。

よりよいすごろくとなるように、主体的に話し合う姿を目指します。

ほのぼの学級（肢体） 自立活動

子どもの**興味をひく課題設定**「お弁当作り」  
～自分の作りたいお弁当のおかずを選ぶ～

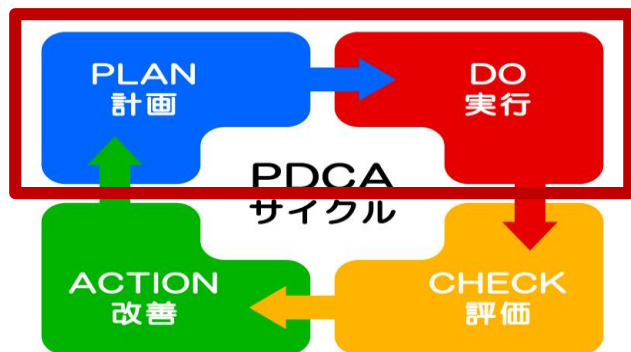
それぞれに合った方法で、**自分の意思を表現する力**を育成します。

# 研究計画

# 研究計画

## 1年次 研究の導入期

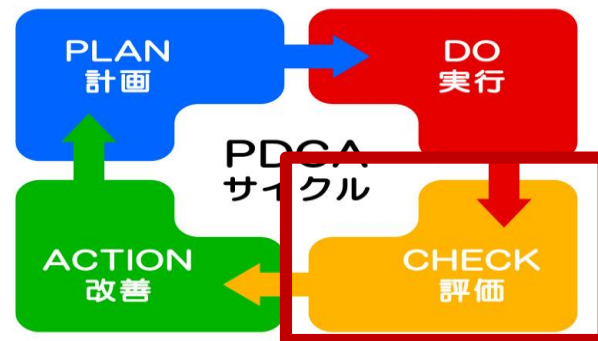
重点 ・ Plan (計画) ・ Do (実行)



子ども自身が計画を立てたり見通しをもったりする手立てのうち、自ら進んで実行する主体性を育む。

## 2年次 研究の充実期

重点 ・ Check (評価)



子ども自身が自己評価をし、ふり返りの視点をもって自分の考えを広げ深める力を養う。

# 研修教科・領域

1年目…学力を保障

通常学級 → 国語・算数・理科・社会（4教科）

支援学級 → 自立活動・生活単元学習  
交流学級で学習するときの支援案  
個別学習での教科指導

2年目…各教科



## ※ | 人 | 実践

		4月	5月	7月①	7月②	8月	11月	1月
		提案	学習会	ブロック提案		全校研	公開研	まとめ
低	1年生 大野 辻 山野				塩見	辻	山野	大野
	2年生 川島 中山 塩見						中山	川島
中	3年生 久井 阪本 秋山 伊東		阪本	伊東	阪本		久井	秋山
	4年生 穂山 萩原 竹内	穂山					竹内	萩原
高	5年生 板谷 大谷 本間			川崎	大谷		板矢	本間
	6年生 新谷 久保 川崎						久保	新谷
	理科専科						山川	
特支	情緒 内山 浪内 西川 増田 木村 常陸			西川 木村		常陸 増田	浪内 内山	木村
	知的 石垣 渡邊 澤田				澤田		渡邊	石垣
	肢体 児玉						児玉	

# 研修日程



エリア公開



本公開



エリア公開

日時	種類	内容
4月 7日 (金)	全体研修	・今年度の研修方針
4月 27日 (木)	全体研修 (事後研)	・提案授業 (理科) ・4-1 (授業者 橋山)
5月 22日 (月)	全体研修・学習会①	・道徳の学習会 3-2 (授業者 阪本)
6月 12日 (月)	学習会②	未定
6月 19日 (月)	ブロック研修	・授業公開指導案検討
7月 3日 (月)	ブロック研修 (事後研)	・授業公開 (中高特)
7月 10日 (月)	ブロック研修 (事後研)	・授業公開 (低中高特)
8月 21日 (月)	ブロック研修	・低特一全校研検討 ・中高一公開研に向けて
8月 28日 (月)	全体研修 (事後研)	・全校研 (低学年、特支)
10月 16日 (月)	ブロック研修	・公開研指導案検討
10月 23日 (月)	ブロック研修	・公開研指導案検討
11月 13日 (月)	全体研修	・公開研指導案全体交流
11月 20日 (月)	(予備日)	(予備日)
11月 28日 (火)		・前日準備
<b>11月 29日 (水) 豊成小学校第15回公開研究会</b>		
12月 1日 (月)	ブロック研修	・公開研反省
1月 15日 (月)	ブロック研修	・授業公開 (学年1本+特支) 検討
1月 22日 (月)	ブロック研修	・授業公開 (学年1本+特支) 検討
1月 29日 (月)	ブロック研修 (事後研)	・授業公開 (学年1本+特支2本)
3月 4日 (金)	全体研修	・研究のまとめ

# 今年度の授業研

# 豊成の道徳のよさの継承、 新しい風、 教師の「やってみたい」

## 教師自身も「やってみる」1年に



道とくは、心のべん強

### 友だち

- なかよし
- なかなおり
- 大好き 親友
- ケンカするほど

5/2(月) なかよしだから  
二人は、よい友だちかな？

ぼく ← しゃべりたい やらないのが悪い → 実さん

まあ そいつのことあるよ → 時間かたてば → このやつ... → イライラムカつく → わずかられる？ → Xいや...

よい友だち！

「なかよしだから」教えられない  
→ 自分で分かってほしい  
たまにはケンカする

カーブ教えた  
何日かたてばなかよし！

ええ...

この後...

- あやまる
- しゃべりやる
- ほどほどにケンカ

### ◎ よい友だちって？

- たすけ合う、ささえ合う
- あそびにさそう
- ケンカしない
- なにかま外れにしない
- 相手のことを考える
- いつでも相談できる



## 7月エリア①②

クッキーを9人で同じ数ずつ分けます。クッキーは全部で24まいあります。1人分は何まいになって、何まいあまりですか。

式  $24 \div 9 = 2 \text{ あまり } 6$  答え 1人分は2まいになって、6まいあります。

わり算の答えが正しいかどうかをたしかめる方法を考えよう。

$24 \div 9 = 1 \text{ あまり } 15$

わり算の答えのたしかめは、  
わる数  $\times$  商 + あまり = わられる数です。



7月 (月)

- あいさつ
- きょうのかつどう
- 前あて  
1年生のことを考えて  
チームで協力して  
じゃんけん
- ふりかえり

1年生をカモカモリ(里)にしよ(い)ね(る) (さん)びを(し)よう。魚 わをく(う) 魚をふ(や)す

つりさお つりま(り)をく(う) (ち)ム(め)

決め(点)



## 8月 全校研

### 常陸教諭、増田教諭による自立活動授業



### 辻教諭による国語科授業



# 参考文献

- ・通常学級文部科学省初等中等教育局教育課程課（令和3年3月）  
「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」
- ・田村学 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 文部科学省初等中等教育局視学委員  
（2020年10月）「探究的な学習の質を高める『協働的な学び』」
- ・留萌管内教育研究所（平成28年3月）「学ぶ意欲『～たい』を引き出す学習指導の実践的研究」
- ・石堂裕 兵庫県たつの市立新宮小学校主幹教諭（2020年）「学びの推進モデル」
- ・佐賀県西部教育事務所（令和4年5月）「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブック  
【別冊資料】version.1
- ・栃木県総合教育センター（平成22年3月）リーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」

今年度の研究を進めるうちに、  
学習中の子どもたちの  
笑顔とやる気が  
増えてきたと実感しています。

まだまだ発展途上の研究です。  
公開研やエリア公開等で、ご意見を  
いただきながら研究を推進していきます。